

2 月 16 日配信

小さな男の子がわんわん泣いています。周囲の視線がそこに集まり、母親があの手この手で我が子が泣くのをやめさせようと必死です。そばにいる父親らしき人もどうしていいかわからずに、困っているようでした。

西和賀町の「雪あかり」を見に行こうと、北上線に乗車した時のことでした。電車は満員で、多くの人が立っていました。しかも一車両なので、その親子は逃げ場がありません。電車の中で、その子の泣き声だけが響き渡ります。なんとかしてあげたいと思いながら、結局何もできない私がありました。

時折、曇った車窓からチラッと見える雪景色。ぼんやりそれを眺めていたら、ふと金子みすゞの詩「積もった雪」が頭をよぎりました。

上の雪 さむかろな。冷たい月がさしていて。

下の雪 重かろな。何百人ものせていて。

中の雪 さみしかろな。空も地面（じべた）も見えないで。

この詩は、「上・中・下」それぞれの雪の辛さ、大変さ、寂しさを詠っています。人も同じで、互いに思いやることの大切さが伝わってきます。自分のことだけでなく、相手や周りの人など、いろいろな立場の人を想像し、思いやることを教えてくれる詩です。

ハッと、現実に戻りました。泣いている子ではなく、今度は周囲の人々の方を見ました。どこかみんなニコニコしています。泣き声に迷惑そうな顔をしている人は一人もいませんでした。中には、母親に話しかけ（大丈夫！誰も迷惑なんてしていないのだから）とでも言わんばかりに陽だまりのように接している女性もいました。また、父親に声をかけ共感している男性や、男の子の気をそらそうとあやしはじめた人もいます。それ以外の人たちは、あまりジロジロ見て親にプレッシャーをかけないように、おそらく気かけながらも、まるで気にしていないかのように普通におしゃべりをしているようでした。

ああ、なんて思いやりのある素敵な人たちなのだろうと、ほっこりした気持ちになり、その場に居合わせたことをうれしく思いました。

私自身、子連れで公共交通機関を利用した時は、周りに神経を使って大変でした。でも、振り返ってみると、私が思っている以上に、周りの方々は好意的に接してくれ、心温まる触れ合いができたと思います。「ごめんなさい」ではなく「ありがとう」の気持ちで、お子

さんと公共交通機関を利用してみるのもいいかも知れませんね。そこには、互いに思いやれる人たちとの出会いが待っている予感がします。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索